

NPO法人フリースペースたまりば企画

生きざまに学ぶ

連続講座 第1弾

第1回講師 斎藤次郎さん

さいとう・じろう

1939年埼玉県飯能市生まれ。1961年法政大学文学部卒業。子ども調査研究所を経て教育評論家になる。日本エディタースクールでは週1回「児童文化論」の講師を勤める。授業で毎回「絵本新聞」を発行。同校のHPでも読める。主な著書は、「気分は小学生」(岩波書店)、「子どもの心探検隊」(赤ちゃん和妈妈社)、「高校生なんでも相談」(岩波ジュニア新書)ほか多数。

日時:2005年 9月23日(金・祝)13:00~16:00

場所:川崎市子ども夢パーク内フリースペースえん

資料代500円(20歳未満は無料)

プログラム	講師
第2回 11月12日(土) 13:00~16:00 (映画上映含む)	北村年子さん(ルポライター) 女性・子ども・性や差別をめぐる問題をテーマに執筆・講演活動を行い、現在はお母さん向け・子ども向けの自己尊重トレーニングの講師としても、全国で講演を行なう。著書に「少女宣言」(長征社)、「「ホームレス」襲撃事件ー弱者いじめの連鎖を断つ」(太郎次郎社)などがある。
	飯田基晴さん(ドキュメンタリー映像作家) 20年以上も新宿で路上生活を送っていた男性を3年かけて撮影したドキュメンタリー映画「あしがらさん」を制作する。
第3回 12月10日(土) 13:00~16:00 (映画上映含む)	星野弥生さん(チャイルドライン支援センター理事) 現在は世田谷チャイルドライン運営委員長。チャイルドライン支援センター理事。また、「ベンポスタ子ども共和国駐日大使」、「ピースボート」のコーディネーター兼通訳を務めるなど世界をまたにかけた活動を行なっている。 ※ドキュメンタリー作品「軍隊をすてた国」を上映します

この連続講座はNHK歳末たすけあいの配分金により実施しています

捨てられない大切なものってなんだろう？

メッセージ

今回の連続講座は、子ども・人権・平和をテーマの中心に据え、その分野で活躍されている方々にお話をうかがいます。「川崎市子どもの権利条例」が施行されてから4年余りが経ちました。この4年の間に、子どもを含めた社会的に弱い立場の人たちが、安心して暮らせる社会に一歩でも近づくことができたのでしょうか？「条例」の具現化を図るために設置・運営されている、ここ「子ども夢パーク・フリースペースえん」で、このテーマを皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

お問い合わせ・申し込み：NPO法人フリースペースたまりば
TEL 044-833-7562 事務局(佐藤)

NPO法人フリースペースたまりばは、川崎市の委託を受け川崎市子ども夢パークの中で「フリースペースえん」を運営しています。

NPO法人フリースペースたまりばは、1991年 川崎市高津区で学校や家庭、地域に居場所を見出せない子どもや若者たちの居場所としてスタートしました。2003年にNPO法人の認証を受け、現在は川崎市高津区下作延を拠点に活動し、学校外での多様な学びや育ち、生き方を支援しています。

会場案内

川崎市子ども夢パーク内
「フリースペースえん」
川崎市高津区下作延
1500-6
TEL044- 850- 2055

JR南武線「津田山」駅から徒歩約5分
※駐車場はありません

